



2026年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年3月12日

上場会社名 株式会社トップカルチャー 上場取引所 東
 コード番号 7640 URL <https://www.topculture.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 兼管理本部長 (氏名) 吉田 勝一 TEL 025-232-0008

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第1四半期の連結業績(2025年11月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第1四半期	4,728	△3.4	117	—	102	—	86	—
2025年10月期第1四半期	4,894	△3.5	4	—	△16	—	△28	—

(注) 包括利益 2026年10月期第1四半期 92百万円(—%) 2025年10月期第1四半期 △22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年10月期第1四半期	円 銭 5.57	円 銭 5.56
2025年10月期第1四半期	△1.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年10月期第1四半期	百万円 15,746	百万円 801	% 4.8	円 銭 △88.37
2025年10月期	14,792	772	4.9	△91.91

(参考) 自己資本 2026年10月期第1四半期 752百万円 2025年10月期 728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年10月期	—	—	—	—	—
2026年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 上記配当の状況は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と管理関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の種類株式の配当の状況をご参照ください。

3. 2026年10月期の連結業績予想(2025年11月1日~2026年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,626	3.5	273	—	227	—	186	—	11.98
通期	18,250	5.3	395	—	295	—	164	—	10.51

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年10月期1Q	16,214,400株	2025年10月期	16,214,400株
② 期末自己株式数	2026年10月期1Q	603,480株	2025年10月期	603,480株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年10月期1Q	15,610,920株	2025年10月期1Q	15,610,920株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(A種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	3,967.12	—	4,032.88	8,000.00
2026年10月期	—				
2026年10月期(予想)		3,967.12	—	4,032.88	8,000.00

(B種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	495.89	—	504.11	1,000.00
2026年10月期	—				
2026年10月期(予想)		495.89	—	504.11	1,000.00

(注) 1株当たり配当金は、円単位未満小数第3位まで計算しその小数第3位を四捨五入して表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や日本初の女性首相の就任により株式市場も活発な動きとなり、緩やかな回復傾向が続いておりますが、長引く物価上昇やエネルギー価格の高止まりにより実質賃金の上昇が伴わず、個人消費は慎重な姿勢が続き、消費対象を選ぶ傾向が継続しております。加えて、不安定な海外情勢・政策動向の影響から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、中期経営計画(2024/10月期～2026/10月期)の最終年度として、読書という“人”にとってかけがえのない文化を継承するべく、持続可能な書店創りの方針のもと、書籍では、オリジナル企画や施策及びEC販売を強化、加えて、書籍を中心とした事業展開や商品・企画の導入を促進し、店舗の付加価値を追求してまいりました。

取り組みの中心となります書籍は、品揃えを拡充、提案力を高めたオリジナル企画やフェアを間断なく展開し、EC販売につきましても、継続的に一定の売上水準を維持しつつ、限定特典付き商品の販売なども実施、リアルとネットの共創により売上を創出いたしました。また、他企業へのオフィ斯拉イブラリーの設置や、読書に触れ合うイベント開催等を通して、読書との出会いを創出する取り組みにも尽力しております。

加えて、複合書店の強みを活かし、“書籍×〇〇”の掛け合わせによる店舗の付加価値向上を図るべく、定番商品の品揃えを一層充実させるとともに、全国の人気お取り寄せ食品やSNSで話題となっているキャラクターシールやグッズ等の販売を強化、併せて、人気通販ショップや観光物産展など多様なPOPUPショップの展開も拡大し、書籍との複合化を加速させた取り組みが奏功、感動体験や自己発見から蔦屋書店とのシナジー効果を高めることができました。このほか、スタンプキャンペーンや企画販売の実施により来店や購買機会の拡大を図った結果、特撰雑貨文具の売上は、既存店同期比102.0%となりました。

さらに、店舗内にアミューズメントパークを7店舗新規オープンし、昨年7月以降12店舗でサービスを開始いたしました。加えて、新たなFC事業として「買取大吉」を2025年11月20日にMORIOKA TSUTAYA(岩手県)にオープンし、多くのお客様にご来店いただき、想定を上回る好調なスタートとなりました。

また、2025年11月1日に蔦屋書店八王子みなみ野店(東京都)店内に併設されておりましたタリーズコーヒーを事業承継し、「タリーズコーヒー八王子みなみ野店」としてリニューアルオープンいたしました。2026年2月28日には、ゲーム・トレカ事業の「ふるいちトップブックス八王子みなみ野店」もオープンし、書籍を中心とした持続可能な書店へと大規模改装を行いました。

今後も、新たな事業展開や商品・サービスの導入を加速させ、来店機会の拡大を図るとともに、感動や発見を体験いただくことで再来店へと繋げる施策を強化し、第2四半期以降も持続可能な書店創りに向けた改装を推し進めてまいります。

グループ子会社4社につきましては、ゲーム・トレーディングカード事業(前年同期比123.6%)、飲食事業(前年同期比113.8%)、スポーツ関連事業(前年同期比103.4%)、訪問看護事業(111.4%)と、それぞれの売上が前年を上回り、連結売上高に大きく寄与いたしました。子会社事業の成長をグループ内で共有、蔦屋書店事業の活性化及びグループ全体の成長にも繋げてまいります。

店舗状況につきましては、蔦屋書店におきまして、契約期間満了等に伴い2店舗営業を終了し、店舗数は44店舗となりました。また、グループ子会社におきましては、事業承継に伴い1店舗出店し、子会社の店舗数は55店舗、合わせてグループ全体の店舗数は、99店舗(2026年1月31日時点)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,728百万円(前年同期比96.6%)、営業利益117百万円(前年同期 営業利益4百万円)、経常利益102百万円(前年同期 経常損失16百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益86百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円)となりました。売上高は、大型店舗を中心に牽引、主軸であります書籍や特撰雑貨文具は堅調に推移、子会社も好調でしたが、営業を終了した店舗及び1月下旬の最強最長寒波による大雪の影響から、前年を下回りました。利益は、店舗運営オペレーションの見直しが奏功し、既存店舗の利益改善が進みました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、大型店舗を中心に牽引、主軸であります書籍や特撰雑貨文具は堅調に推移、子会社も好調でしたが、営業を終了した店舗及び1月下旬の最強最長寒波による大雪の影響などにより、当社グループの主軸である蔦屋書店事業全体の売上高は4,183百万円(前年同期比94.5%)となりました。

利益面につきましては、店舗運営オペレーションの見直しに努めました。その結果、営業利益117百万円（前年同期 営業利益4百万円）、経常利益102百万円（前年同期 経常損失16百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益86百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円）と改善いたしました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

① 蔦屋書店事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,183百万円（前年同期比94.5%）、セグメント利益は60百万円（前年同期 セグメント損失36百万円）となりました。

主力商品の売上高は、書籍2,592百万円（前年同期比91.6%）、特撰雑貨・文具853百万円（前年同期比97.8%）、レンタル99百万円（前年同期比72.3%）、ゲーム・リサイクル51百万円（前年同期比113.0%）、販売用CD42百万円（前年同期比83.3%）、販売用DVD23百万円（前年同期比71.8%）、賃貸不動産収入134百万円（前年同期比111.3%）となりました。

② ゲーム・トレーディングカード事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高158百万円（前年同期比123.6%）、セグメント利益22百万円（前年同期比128.7%）となりました。

③ スポーツ関連事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高57百万円（前年同期比103.4%）、セグメント損失1百万円（前年同四半期 セグメント損失1百万円）となりました。

④ 訪問看護事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高54百万円（前年同期比111.4%）、セグメント利益4百万円（前年同四半期134.6%）となりました。

⑤ 飲食事業

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高347百万円（前年同期比113.8%）、セグメント利益22百万円（前年同期比185.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比953百万円増加し、15,746百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,087百万円、売掛金が18百万円それぞれ増加した一方で、商品が113百万円減少した結果、流動資産が1,038百万円増加し、また、建物及び構築物が12百万円、リース資産が57百万円、のれんが5百万円それぞれ減少した結果、固定資産が84百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比924百万円増加し、14,944百万円となりました。これは主に買掛金が1,182百万円増加した一方、一年内返済予定分を含む長期借入金が114百万円、短期借入金が100百万円、一年内支払予定分を含むリース債務が87百万円、それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比28百万円増加し、801百万円となりました。これは主に、剰余金の配当を63百万円実施したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純利益を86百万円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期の連結業績見通しにつきましては、2025年12月11日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,204,764	2,292,138
売掛金	478,881	497,269
商品	6,248,794	6,135,667
前払費用	211,302	215,423
未収入金	132,733	157,277
その他	7,000	24,334
貸倒引当金	△404	△404
流動資産合計	8,283,073	9,321,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,134,358	1,121,549
土地	1,397,949	1,397,949
リース資産(純額)	1,686,176	1,628,326
その他(純額)	187,144	186,570
有形固定資産合計	4,405,629	4,334,395
無形固定資産		
のれん	97,040	91,747
その他	18,058	23,787
無形固定資産合計	115,099	115,534
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,863,115	1,840,747
その他	125,626	133,922
投資その他の資産合計	1,988,741	1,974,670
固定資産合計	6,509,470	6,424,600
資産合計	14,792,543	15,746,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,422,581	4,604,604
短期借入金	4,800,000	4,700,000
1年内返済予定の長期借入金	534,305	559,588
リース債務	348,082	346,213
未払法人税等	46,345	15,269
賞与引当金	20,000	10,000
未払金	449,307	440,507
資産除去債務	5,088	5,088
株主優待引当金	7,500	—
その他	368,320	464,789
流動負債合計	10,001,531	11,146,061
固定負債		
長期借入金	1,075,128	935,766
リース債務	2,382,797	2,296,777
資産除去債務	212,603	213,359
長期前受収益	158	2,945
退職給付に係る負債	28,321	26,695
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期末払金	16,906	20,342
長期預り敷金保証金	239,412	239,774
固定負債合計	4,018,269	3,798,601
負債合計	14,019,801	14,944,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,989,646	3,926,129
利益剰余金	△3,092,774	△3,005,844
自己株式	△270,027	△270,027
株主資本合計	726,844	750,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,047	2,039
その他の包括利益累計額合計	2,047	2,039
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	35,600	41,099
純資産合計	772,742	801,644
負債純資産合計	14,792,543	15,746,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年11月1日 至2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年11月1日 至2026年1月31日)
売上高	4,894,806	4,728,375
売上原価	3,219,545	3,023,578
売上総利益	1,675,261	1,704,796
販売費及び一般管理費	1,670,840	1,587,287
営業利益	4,421	117,508
営業外収益		
受取利息	1,414	1,086
協賛金収入	2,890	11,545
原子力立地給付金	3,032	457
その他	2,927	4,993
営業外収益合計	10,264	18,083
営業外費用		
支払利息	29,905	32,268
雑損失	1,287	1,072
営業外費用合計	31,192	33,340
経常利益又は経常損失(△)	△16,506	102,251
特別利益		
固定資産売却益	—	2,640
特別利益合計	—	2,640
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,506	104,891
法人税、住民税及び事業税	6,039	12,463
法人税等合計	6,039	12,463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,546	92,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,575	5,498
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,121	86,929

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,546	92,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	233	△8
その他の包括利益合計	233	△8
四半期包括利益	△22,312	92,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,887	86,921
非支配株主に係る四半期包括利益	5,575	5,498

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	蔦屋書店 事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業			
売上高								
外部顧客に 対する売上高	4,362,739	128,184	50,260	48,655	304,965	4,894,806	—	4,894,806
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	63,651	—	4,854	—	—	68,505	△68,505	—
計	4,426,390	128,184	55,115	48,655	304,965	4,963,312	△68,505	4,894,806
セグメント利益 又は損失(△)	△36,469	17,213	△1,080	3,363	12,001	△4,970	9,391	4,421

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	蔦屋書店 事業	ゲーム・ トレーディング カード事業	スポーツ 関連事業	訪問看護 事業	飲食事業			
売上高								
外部顧客に 対する売上高	4,116,515	158,375	52,155	54,218	347,110	4,728,375	—	4,728,375
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	66,865	—	4,854	—	—	71,719	△71,719	—
計	4,183,381	158,375	57,009	54,218	347,110	4,800,095	△71,719	4,728,375
セグメント利益 又は損失(△)	60,963	22,148	△1,825	4,528	22,241	108,056	9,451	117,508

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	96,474千円	108,999千円
のれんの償却額	5,293千円	5,293千円

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	2,830,027	57.0	2,592,890	54.0	91.6
	特撰雑貨・文具	872,938	17.6	853,647	17.8	97.8
	賃貸不動産収入	120,745	2.4	134,399	2.8	111.3
	レンタル	137,623	2.8	99,472	2.1	72.3
	ゲーム・リサイクル	45,657	0.9	51,608	1.1	113.0
	販売用CD	50,868	1.0	42,394	0.9	83.3
	販売用DVD	32,617	0.7	23,408	0.5	71.8
	その他	272,262	5.5	318,692	6.6	117.1
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	63,651	1.3	66,865	1.4	105.0
	計	4,426,390	89.2	4,183,381	87.2	94.5
ゲーム・ トレーディング カード事業	外部顧客に対する売上高	128,184	2.6	158,375	3.3	123.6
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	128,184	2.6	158,375	3.3	123.6
スポーツ関連 事業	外部顧客に対する売上高	50,260	1.0	52,155	1.1	103.8
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,854	0.1	4,854	0.1	100.0
	計	55,115	1.1	57,009	1.2	103.4
訪問看護事業	外部顧客に対する売上高	48,655	1.0	54,218	1.1	111.4
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	48,655	1.0	54,218	1.1	111.4
飲食事業	外部顧客に対する売上高	304,965	6.1	347,110	7.2	113.8
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	304,965	6.1	347,110	7.2	113.8
合計		4,963,312	100.0	4,800,095	100.0	96.7

(注) 1 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

2 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード他であります。